

スカウト おおい た

第37号

2013年10月15日 発行

日本ボーイスカウト大分県連盟

編集 県連総務委員会

『熱く燃えた平成25年の夏』

16NJ派遣団長 芳山憲祐

山口県山口市阿知須・きらら浜での第16回日本ジャンボリーに派遣団長として参加しました。

大会参加総数は1万4千人で、海外から53カ国1411人の参加があり、まさしく世界の仲間集まった大会でした。

大会のテーマは、『和』で、コンセプトは、

【力】エナジー・・・エネルギー

【革新】イノベーション・・・新しいことへの挑戦

【調和】ハーモニー・・・仲良くし、協力しあってひとつになること。

会場行き交う仲間で楽しい交流を行っている場面や隊での交換会での会話は各国の言葉が入り交じって別世界を創っていました。

スカウトの祭典であるジャンボリーは、参加したスカウトはもとより見学で来たスカウトにとっても印象的で感動した大会となったことでしょう。

特に開会式やアーリーナショーそして閉会式を、初めて体験をしたスカウトが多かったのではないかと

かと思います。

これを機会にスカウト活動をより一層深めてきたる「23WSJ」に是非参加して頂きたいものであります。

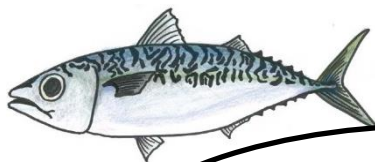
また、毎朝9時から開催された派遣団長会議では危機管理室から中央救護所（病院）の状況が発表され、連日150名近くの人が中央救護所のお世話になっていたにも関わらず大分県からの派遣隊からは病院のお世話になったスカウトはなかったことが何よりでした。

心から感謝申し上げます。本当に今年の夏は身も心も「熱く燃えた夏」でした。

彌榮



結団式 第16回日本ジャンボリー大分県派遣団



個性派せいぞろい！！

関サバ隊！



スカウト通信員の仕事もいよいよ最後！！！！

事前訓練から解散までいっきにダイジェスト——ーッ！！！！

← 第一回事前訓練

→ 結団式



16NJ 本番だ——！！！！



← 設営作業



／開会式へしゅっぱーつ／



↓ 王さんから
ビデオレター



いざ！場内プログラム「サイエンス」へ

千葉県との交流



エイサー練習



場外プログラム



→突然のゲリラ豪雨にあいまして
外国サイトの排水のお手伝い。



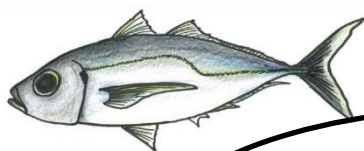
閉会式



↑平和式典参列
プログラムにて



2 ページでは伝えきれないほどの思い出ができました。もっと
いっぱい写真ものをせたかったですがここまでです！泣
楽しさが伝わればなによりです。
スカウト通信員 中津 8 団 VS 隊 稲垣 佳那子



関アジ隊！
ゲート完成！！

大会4日目アリーナショーに皇太子殿下の行啓を仰ぎ、さらに安倍総理大臣、野口宇宙飛行士達の激励をいただいた。



巨大折り鶴完成



副長お疲れ様でした



ゲリラ豪雨の災害 懸命の復旧



国際交流 交歓会



閉会式 フィナーレの花火



見学隊も参加！



16NJ 見学隊

大分第1団→
←大分第2団その他多くの団の
見学がありました。

～16NJへの熱い思いはさめない～

関アジ隊 隊長 得丸 正義

縁あって関アジ隊の隊長をさせていただきました。この半年間、色々な事がありました。至らないところや、やりすぎたところなどたくさんあったのではないかと思います。私なりに全力を尽くしたつもりです。第1回事前訓練で「関アジ隊 隊長 得丸」と発表された時から、どんな16NJラストを迎えるか夢を抱いてきました。



大分に8月8日に着き、別府・大分・津久見の順に笑顔でお別れをしていく目の前にいるスカウトたちの姿は、その夢をはるかに超えました。スカウトたちは、成長し、本来持っている姿を見せてくれました。これも、保護者のみなさまのご支援があればこそだと、本当にありがたく感じております。

大分に8月8日に着き、別府・大分・津久見の順に笑顔でお別れをしていく目の前にいるスカウトたちの姿は、その夢をはるかに超えました。スカウトたちは、成長し、本来持っている姿を見せてくれました。これも、保護者のみなさまのご支援があればこそだと、本当にありがたく感じております。

もし、こんな私でよければ、「今後もスカウトたちと、そしておうちの方ともお付き合いができれば」と思います。少々、年を取って動きは鈍くなっていますが、この半年、私のことだけでなく、妻や娘たちのことを心配してくれたスカウトたち保護者の方々にご恩返しをしたいと思っています。人生、うまくいく時ばかりではありません。時に、困ってどうにもならないことがあることもあるかと思いますが、話を聞くことしかできないかもしれませんが、そんなときは、私でよければいつでも声をかけてください。

相田みつをさんの言葉に次のようなものがあります。『途中にいるから中ぶらりん、底まで落ちて地に足が着けばほんとうに落ち着く』

仕事や人間関係のトラブル、病気などに遭うと「ああ、どん底だ」と悩みます。そんなことが人生には何度もある。でも、一方、不思議なことも。その「どん底」の出来事を後になって振り返ってみると、大してどん底ではなかったことに気付くのです。辛いことや悲しいことは、その真っ只中にいると、「今が最悪だ」と思い込んでしまう。でも、冷静になって考えると、最悪、最低どころか、ずっと上の方にいることがわかります。でも、その時は、もがいてもがいて苦しみます。どうしたら解決できるのか、逃れられるのかと悶えます。小手先の努力で解決できることは、しょせん小さなことなのです。本当にどうすることもできない激震に襲われたとき、覚悟を決めて開き直ります。「もう、どうにでもなれ」と。すると、心がフッと軽くなり、ようやく、そこから再出発できます。一度、「本当のどん底」を体験すると、ちょっとやそっとの苦勞なんて笑い飛ばせるようになるのです。

～16NJの思い出～

関サバ隊 隊長 真田 康広 (由布2団)

16NJ大会中、毎日の朝礼での「隊長の話」は『虹』がテーマ。日本では虹の色の数は一般的に七色（赤・橙・黄・緑・青・藍・紫）ですが、アメリカやイギリスでは藍を除く6色、ドイツでは赤、黄、緑、青、紫の5色と認識されている。虹の色が何色に見えるのかは、科学の問題ではなく文化の問題。何色に見えるかではなく、何色と見るかということである。16NJでのすべての活動に各自が主体的に向き合い積極的に楽しみたい。



日々のテーマとスカウトへ伝えた話の骨子は、次のようなものでした。

8/1（赤）『粘り』一スカウトの粘り強さ、積極性、活動力は赤の特徴です。

8/2（橙）『朗らか』一スカウトの自信や勇気、朗らかさは橙の特徴です。

8/3（黄）『輝き』一スカウトの観察と推理、決断力は黄色の特徴です。

8/4（緑）『寛容』一スカウトの寛容さ、しっかりした良識、理解力は緑の特徴です。

8/5（青）『変化』一スカウトの親切さ、変化や変身の機会を提供してくれます。

8/6（藍）『誠実』一スカウトの誠実さ、献身と信頼をもたらす藍色の特徴です。

8/7（紫）『思いやり』一スカウトの忍耐力、思いやりは紫色の特徴です。

最終日8/8（白）『感謝』一みんなに、自分に一これまでの色を足し合わせると光は白色になります。事前訓練から大会本番、仲間達と共有した時間、多くの経験を積んできた君達の色です。みんなに感謝するだけでなく、自分にも感謝して欲しい。大分に戻れば、君達の背中をたくさん後輩スカウトらが見つめる。自信を持って誇らしい自分に感謝！

張り巡らされたテントでサイトはぎゅうぎゅう状態。朝礼はSC広場へ移動し、外国隊の注目を浴びながら行ったことも印象深い経験です。日々の優秀班を列記して各班の栄誉を讃え、16NJの思い出といたします。

赤；ペンギン班、橙；温泉班、黄；チャー班
 緑；豊後班・ベンチャー、青；温泉班
 藍；ペンギン班、紫；チャー班、
 白 最優秀班 温泉班



「16NJ感想」

ペンギン班 班長 島田 晃輔

七月三十一日、私は数々の不安や楽しみを胸に、乗車し山口県きらら浜へ向いました。

八泊九日という長期キャンプは初めてで、毎日猛暑が続く中で生活できるかが一番不安でした。しかし、そこに待っていたのは明るい仲間、楽しいリーダー。本当に九日なんてあっという間で、暑さなんて忘れていました。今思えば、こんな気温でよく生活できたなと実感します。

私がこのキャンプで学べたことは、協力です。このことは班員と共にいるだけで学ばれました。協力しなければ生きていけない。1人で居ては何も出来ない。これは皆が感じたことだと思います。今大会で学んだことを忘れず、次回ジャンボリーに挑戦したいと思います。



「16NJの感想」

チャー班 班長 西田 裕亮

今回僕が初めてNJに参加して一番心に残ったことは県連旗を持って1万何千人の前で歩いたことです。緊張しましたが、とても楽しかったです。こんな経験は何回も出来ることではないので、させてくれた方々に感謝したいです。また、家に帰って気付いた事がたくさんありました。冷蔵庫の有難さなど日々の快適な生活を支えているものです。しかし一方で冷房の効きすぎ、水の使い過ぎなど自分たちがいつも無駄にしている事も見えてきました。これからの生活で16NJの経験を生かして生きたいです。

「ジャンボリーから学んだこと」

温泉班 班長 齊藤 俊太

僕はこの第16回日本ジャンボリーのテーマ「和」から学ぶことがあった。ジャンボリーをやっている最中の、班員との協力、友情の和。他の県や、世界のスカウトとの交流の和など、人との関係で学ぶことが多かった。また、ジャンボリーでは、日常の生活がとてもありがたいことが分かった。とてもすずしい部屋、天候になやまされることのない家、とてもありがたいと思った。このジャンボリーで学んだことを忘れずに、これからもがんばっていききたい。



「16NJ感想」

豊後班 班長 佐藤 李乃

自分がジャンボリーに参加して気づいたことは、「人と人とのつながりがボーイスカウトならではの」ということです。

個人的な考えではありますが、ボーイスカウトは友達がすぐたくさんできます。学校などでは日を重ねるごとに仲良くなる・・・と言うのが普通ですが、ボーイスカウトなら一瞬で仲良くなれると思うんです。目に見えてわかるものの代表といえば、みんなで肩を組んでいる写真や変顔だったりする写真。活動終了後のフェイスブックなどでのやりとり。普段の生活では体験することが出来ません。自分も実際、NJ中では今までの日韓フォーラムやLINEで知り合った人と再会してすごく嬉しかったり、NJ中に初めて出会った人とNJ終了後積極的に交流が来ています。ボーイスカウトならではの、ジャンボリーならではのことも多いです。



「16NJ ジャンボリー」

関アジ隊 浦田 竜馬

今年の夏、16NJに参加しました。小学校3年生から始めたスカウト活動の中で、とても大きな大会に参加するのはとても楽しみでした。

そして、世界のスカウトとの交流も初めてで、何から何まで初めてで、カルチャーショックでした。なにより、交流会での外国スカウトとの会話が問題です。

「何の話をしたらいいだろう。」

「何て話しかければいいのだろう。」

僕の後ろの席の子に、「ハイ」と声をかけてみました。少し緊張が和らいで、それからはとても楽しい時間を過ごしました。言葉は違うけれど伝える心は伝わるのだろーと思いました。そして、この体験を世界ジャンボリーにも生かしたいと思います。



ジャンボリーで学んだこと

関アジ隊 クマ班 光来出 忠斗

僕は今回、第16回日本ジャンボリーに班長として参加しました。事前訓練では、初めて会う人と活動するのはとても不安でした。

ジャンボリーが始まると、最初の三日間は「あと」何日だと思っていたのが、気づくと「もう」何日になっていました。副長から「ジャンボリーに参加すると家に帰りたくなる」と言われました。本番までこの言葉を信じていませんでした。しかし、参加してみると本当に帰りたくなりました。

今回、班長としてたくさん学ぶことができました。ジャンボリーで得たたくさんのことを自分の団に伝えられるようにしたいです。

スカウト通信員『16NJ』感想

スカウト通信員 稲垣加那子（中津8VS）

第16回日本ジャンボリーはわたしに多くの経験をさせてくれ、高校生活でずっと1番になる思い出をくれました。

関サバ隊のみんなと出会ったのがつい昨日のように感じます。

ジャンボリー中は、プログラムで仲間といろんなことを学んだり、アリーナショーではわいわい騒いだりと過ごしていた時間すべてが思い出です。

サイトでは外国人の混合隊と横だったこともありたくさんの交流ができました。

やっぱり「ボーイスカウトっていいな」と実感させられました。

スカウト通信員や、広島平和式典代表スカウトとめったにできないこともさせてもらいました。

平和式典はハードスケジュールでしたがこれもいい経験となり、わたしを成長させてくれたと思います。

16NJに参加して本当によかったです。

関サバ隊、最高ー！！

ありがとうございました!!!

スカウト通信員 浜井百桃（津久見1VS）

8泊9日にあったジャンボリーはとても長かったのですが6日ぐらになるととても短く感じられました。

最初は長期のキャンプ生活に慣れていないせいか班内での会話は少なく先が心配に思われましたがキャンプ生活に余裕が出てくるとだんだんと会話や行動に変化がおき笑顔の数も増え楽しいキャンプ生活を送ることが出来るようになりました！

また、他国の人や他県の人達との交換会では今までになかった遊びを知ることができ遊びの方でも参考にさせてもらうことができました。

決して充実した生活ではなかったけど沢山の事を学ぶことが出来本当に良かったです。

